



代表 梶本 久夫

株式会社コーポレートデザイン研究所

Corporate Design Institute Inc.

21世紀の社会のしぐみをデザインする



UNIVERSAL
DESIGN
CONSORTIUM

■株式会社コーポレートデザイン研究所の紹介

コーポレートデザインとは、組織や企業活動そのもののデザインを意味します。優れたコーポレートデザインを行うためには、ビジョンをはじめ、ブランドやサービス、製品、ファシリティといったアウトプットすべてを戦略的に計画、設計、実施する必要があります。コーポレートデザイン研究所はそうした戦略的デザインにより、組織や企業の高付加価値経営と持続的競争優位の確立を支援します。

コーポレートデザイン研究所は、ユニバーサルデザイン（UD）を積極的に取り入れています。UDとは、全ての人々にとって使いやすく、安全で、快適な製品や生活・都市環境、情報、まちづくりをめざすことを意味します。21世紀の社会において、エコロジーと並ぶデザインの本流です。使い手の視点を重視し、計画段階からさまざまなユーザーの参画のもと最適解を導くプロセスが特徴です。

当社が主幹企業を務めるユニバーサルデザイン・コンソーシアム（UDC）では、1998年から自治体、企業、海外からの要請で研究会をはじめ数々の講演活動やイベントのプロデュースを行っています。当社は、UDCのネットワークを通じて国内外の第一線で活躍する研究者や実践者を招聘し、主催者と参加者が価値と共感を分かち合うプログラムづくりを行います。

当社はさらに、38号を数える「ユニバーサルデザイン誌」の企画・編集を通して国内外の情報交流を担っています。本誌はUDにおける世界で唯一の専門誌です。充実したデータにくわえ、自治体や企業の新たな動向を次々と取り込むことで国内外から高い評価を得ています。

コーポレートデザイン研究所は、健康都市においてもUDの手法でアプローチします。国籍や文化背景、障がいの有無などにかかわらず、誰もが健康で豊かな生活を楽しむことができる社会づくりに貢献したいと願っています。

■健康都市連合における役割

コーポレートデザイン研究所は、第一に情報コミュニケーションの役割を担います。その一つが健康都市・総合誌の発行です。東日本大震災を機に、世界は安心・安全を柱とする健全なる成長への新たなフレームワークを求めています。そこで「ユニバーサルデザイン誌」の刷新と拡大を図るために冊子名を「UD健康都市デザイン」と改め、特定非営利活動法人健康都市活動支援機構（千葉光行理事長）との連携のもと、「健康都市」を特集シリーズ化することにしました。生活環境からまちづくりまで、国内外の最新情報・自治体情報と健康都市実現に向けたさまざまな取り組みをご紹介します。

第二に、同機構との連携により行政や民間企業、NPO、団体の供創を促進し、健康都市連合および同日本支部の発展をさまざまな領域でサポートします。例えばUDCが運営する「病院ブランディング研究会」で「ヘルシー・ホスピタル」の提言を行い、医療施設を核とするまちづくりに貢献します。また、UDCのネットワークを通じて各ステークスホルダーが「WIN-WIN-WIN」になる関係づくりを行い、健康都市が政策はもちろんのこと、新しいビジネスモデルの創出や生きがいつくりとして定着することをめざします。

■会社概要

会社名： 株式会社コーポレートデザイン研究所

設立： 1988年

資本金： 2,500万円

代表取締役社長： 梶本久夫

社員数： 7名

所在地： 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-13-6 ミツボシ第3ビル8階

Tel： 03-5820-3541（代表）

Fax： 03-5820-3113

業務内容：

コミュニケーション・デザイン

ファシリティ・コンサルティング

マーケティング戦略立案

各種研究会・講演・出版

事業支援

コーポレート・コミュニケーションの企画・制作

企業文化発信の支援

シンポジウム・展示会・イベント・ショールームの企画・運営

